

学習目標						
(1) 相手に応じ、身近なことなどについて、事柄の順序を考えながら話す能力、大事なことを落とさないように聞く能力、話題に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、進んで話したり聞いたりしようとする態度を育てる。 (2) 経験したことや想像したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く能力を身に付けさせるとともに、進んで書こうとする態度を育てる。 (3) 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。						
月	単元・題材名	学 習 内 容				
4	○こえに出して読もう ○としょかんへ行こう ○かん字のかき方に気をつけよう ○こんなことがあったよ ▲しせいともち方 かたかなの書き方 ・漢字とかたかなのれんしゅう	・人物の行動や会話に着目し、言葉のまとまりに気をつけて声に出して読む。 ・図書館の利用の仕方を理解する。 ・漢字の筆順と画数について理解する。 ・毎日の生活を振り返り、友達に伝えたい出来事を見つけて書く。 ・正しい姿勢・鉛筆の持ち方で書く。 ・片仮名と漢字を、一年で学習した筆使いに注意して書く。				
5	○たんぼほのみみつを見つけよう ○かたかなで書くことば ○ことばで絵をつたえよう ○かんさつしたことを書こう ▲かたかなの書き方 ・かたかなのひょう	・順序に気をつけて、書かれていることを読む。 ・片仮名で書く言葉について知り、正しく使う。 ・絵の描き方について、聞き手に分かるように、順序に沿って事柄を詳しく話す。 ・動植物の様子を、観点に沿って観察し、気づいたことを「かんさつカード」に詳しく書く。 ・片仮名五十音を、既習事項を確認しながら、筆順に従って丁寧に書く。				
6	○ばめんごと読もう ○まよい犬をさがそう ○二つのせつめいをくらべよう ○主語とじゅつ語に気をつけよう ▲かたかなの書き方 ・にている文字	・人物がしたことやそのときの様子に気をつけてお話を読む。 ・だいなことを落とさずに、集中して話を聞く。 ・カードと本の文章という二つの文章を読み比べ、それぞれの説明の違いに気づく。 ・主語と述語の働きを理解し、主語と述語の照応した正しい文を書く。 ・片仮名と漢字の、似ているところ注意して書く。				
7	○じゅんじょよく書こう ○本は友だち ▲漢字の書き方 ・画の長さ	・簡単な構成を考え、文章を書いて読み返し、間違いに気づいて直す。 ・読書への興味を持ち、楽しんで本を読む。 ・長い「横画」や「縦画」を見つけ、画の長さの違いを理解する。				
9	○しを読もう ○たからものをしょうかいしよう ○声に出してみよう ○言いつたえられているお話を知ろう ○「ありがとう」をつたえよう ▲漢字の書き方 ・画の方向 ・ひつじゅん	・詩を声に出して読み、言葉の響きやリズムを楽しむ。 ・宝物を紹介するために、話す事柄を考えて、順序よく話す。 ・音節と文字との関係や、アクセントによる言葉の違いについて理解する。 ・神話や伝承の読み聞かせを聞いたり自分で読んだりして、そのおもしろさを知る。 ・文字や言葉の使い方に誤りがないように気をつけて、伝えたいことを簡単な手紙に書く。 ・「折れ」の方向の違いに気づき、画の方向を考えて書く。 ・「払い」の方向の違いに気づき、画の方向を考えて書く。 ・筆順の原則を理解し、筆順に従って書く。				
10	○声やうごきであらわそう ○絵を見てお話を作ろう ▲漢字の書き方 ・画のつき方と交わり方	・それぞれの場面の人物の様子を想像し、声や動きで表す。 ・絵から場面の様子を想像し、一つ一つの場面がつながるように物語を書く。 ・画が接するところと交わり方を見つけ、画の接し方と交わり方の違いを理解する。				
11	○どうぶつのみみつをみんなでさぐる ○なかまになることばをあつめよう ○あそびのやくそくを話し合おう ○名人をしょうかいしよう ▲漢字の書き方 ・文字の中心 ・文字の形	・だいなところに気をつけながら文章を読み、読んで調べたことをまとめる。 ・仲間になる言葉に関心を持ち、言葉を集めたり分類したりする。 ・一人一人の考えをよく聞いて、話題に沿って話し合い、グループの考えをまとめる。 ・書く事柄を整理して、紹介したいことが伝わるように「名人しょうかいカード」を書き、友達と読み合って感想を伝え合う。 ・文字の中心にある「縦画」や「点」を見つけ、文字の中心を考えて書く。 ・文字の外形を理解し、外形を考えて書く。				
12	○むかし話をしょうかいしよう ○おくりがなに気をつけよう ▲漢字の書き方 ・書きぞめをしよう	・昔話を読み、おもしろいところを見つけ、カードに書いて友達に紹介する。 ・送り仮名について理解し、送り仮名に注意しながら漢字の読み書きをする。 ・正しい姿勢・筆記具の持ち方で書く。 ・平仮名や片仮名、漢字の書き方と筆順を理解する。				
1	○心がうごいたことを ○おばあちゃんに聞いたよ ○同じところ、ちがうところ ○はんたいのいみのことば ▲漢字の書き方 ・画の間かく	・心が動いたときのことを思い出して、詩を書く。 ・昔から伝わる生活に役立つ言い回しを声に出して読み、親しむ。 ・二つの物を比べて同じところと違うところを見つけ、それぞれを整理して文章に書く。 ・反対の意味を表す言葉に関心を持ち、言葉を集めたり分類したりする。 ・「横画」と「縦画」の間隔の整え方を理解し、画の間隔に注意して書く。				
2	○あなのやくわりを考えよう ○組み合わせたことばをつかおう ○「おもちゃ教室」をひらこう ▲まとめ ・漢字の書き方	・文章から読み取ったことをもとにして、身近にある穴の役割について説明する。 ・複合動詞の構成や意味を理解することができる。 ・おもちゃの作り方や遊び方を、聞き手に分かりやすいように、順序よく工夫して説明する。 ・既習漢字の字形の整え方をまとめ、正しく書く。				
3	○紙しばいをしよう ○「ことばのアルバム」を作ろう ▲まとめ ・ありがとうをとどけよう ・いろはうた	・それぞれの場面の様子を想像し、紙芝居で発表する。 ・一年間書いてきた文章を読み返し、一年間を振り返り、思い出を文章に書く。 ・文字の書き方を理解する。既習事項を生かして、読みやすく丁寧に書く。 ・既習事項を生かして、丁寧に書く。				
評価の観点						
【関心・意欲・態度】国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する関心を深め、進んで話したり聞いたり書いたり、楽しんで読書したりしようとする。 【話す・聞く能力】相手に応じ、身近なことなどについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事なことを落とさないように聞いたり、話題に沿って話し合ったりしている。 【書く能力】経験したことや想像したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書いている。 【読む能力】書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりして本や文章を読んでいる。 【言語についての知識・理解・技能】伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やきまり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字を正しく丁寧に書いている。書写では文字の形、筆順、点画の接し方、交わり方などを理解して文字を正しく書く。						
(評価の方法)	テスト	発言内容	活動の様子	ノート	ワークシート	作品